

拠出金名: 人口関係国際機関等拠出金

分担金・義務的拠出金の有無		有(所管官庁)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成20年度の拠出総額				3,611,494千円	
国際機関等名		国連人口基金 (英文名称・略称) United Nations Population Fund (UNFPA)			
種 別		国連(事務局)		国連(基金・計画)	
所管官庁担当局課名		外務省国際協力局地球規模課題総括課			
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成20年度(注2)	3,611,494	31,960		1\$ = 113円	100
平成19年度(注3)	4,925,026	42,457		1\$ = 116円	100
平成18年度	3,802,541	34,257		1\$ = 111円	100
当該拠出金の目的・用途等		国連人口基金の運営・活動経費等			
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2008年のもの)				国際機関等の財政 (2008年度決算)(百万米ドル)	
	国 名	金額 (千ドル)	拠出率(注1) (%)	当該年度の収入	529
1位	オランダ	75,728	17.7	当該年度の支出	452.4
2位	スウェーデン	60,902	14.2	次年度への繰越(注4)	76.6
3位	デンマーク	48,017	11.2	会計検査機関名	
4位	ノルウェー	47,564	11.1	国連会計検査委員会	
5位	英国	30,722	7.2	(UN Board of Auditors)	
日本の順位: 6位、6.9%				(現在の構成員の出身国: 仏、南ア、中)	
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
人口問題は、地球環境や食糧、エネルギー問題とも関連し、開発途上国の持続的開発に重大な影響を与えることから、我が国は、人口分野における開発援助機関として中心的・指導的役割を担うUNFPAを、MDGs達成の目的及び人間の安全保障の観点から積極的に支援している。我が国は、UNFPAによる母子保健の推進、家族計画やサービスの提供、性感染症やHIV/エイズの予防と治療等のリプロダクティブ・ヘルス分野における、女性一人ひとりのエンパワメントを踏まえた支援活動を高く評価している。					
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価					
UNFPAは2008-2011年「戦略的計画」を、人口と開発、リプロダクティブ・ヘルスの権利とジェンダー平等などの活動指針とするとともに、UNDPと共に、支援の現場において合理的な活動を行うためにも、UNFPA本部機能の地域事務所移転等による地域化を推進しており、内部外部監査の強化等を通じての財政改革も推進している。					
邦人職員数 うち幹部以上	15人 うち 3人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	1,119人 1.3%		
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考	
アジア太平洋地域事務所長		堀部 伸子			
在ニカラグア事務所長常駐代表		佐崎 淳子			
国連人口基金東京事務所長		池上 清子			
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
訪日等の機会を捉えて、UNFPA幹部に対し、邦人職員の採用や昇進の働きかけを行っており、今後とも積極的に働きかけを実施していく。					

(注1) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。通常予算に占める率。

(注2) この機関には外務省からこの他1件の拠出あり。アフリカ(ソマリア、ジンバブエ)の食料価格高騰対応130万ドル(UNFPAを経由して実施されたもの。補正予算)を含む。

(注3) アフリカ(エチオピア、シエラレオネ、コートジボワール)の緊急人道支援220万ドル及びアフガニスタン国勢調査支援600万ドル(ともにUNFPAを経由して実施されたもの。補正予算)を含む。

(注4) 前年度からの繰越金等を含む。